

in 下石井公園

EAT UP OKAYAMA

～おかやまを食べ尽くせ～

下石井公園での人工芝実証実験中、新たなレイアウトでイベントを開催。ジャズ・イン・西川とのコラボあり、21店の飲食店が集結し「岡メシ」を提供。今年はファミリー層が多く、レジャーシート(貸出)を広げてピクニック気分ですと楽しんでいました。

※1時間500名の入場制限、最大2時間の入替制で実施
[実施日: 2021年11月21日] 延来場者数 2,300名



in 野殿橋付近



おいしいこうえん。



コロナ禍でも、安心安全に街中で食事を楽しむ非接触オーダーシステムの社会実験を実施。生演奏や夏のイルミネーション、満月BARとのコラボもあり、ご来場の皆さまからは「久しぶりにすてきな時間を過ごせた」、「面白い仕組みづくりでいいと思います」など、とても良い反応をいただきました。参加飲食店5店舗。

[実施日: 2021年7月31日、10月16日] 延来場者数 約95名



みんなで作る「マチのカルテ」

投稿フォームQRコード

暮らす方や来訪される皆さまが「まちのお医者さん」となり西川エリアの診察をしてください。例えば、危険だと思ふ箇所、不釣り合いだと思ふ看板、落書き、不法投棄、電気が切れている街灯など、写真を撮って下記専用フォームから投稿するだけ。みんなで協力して西川エリアを「安心して住み続けられるまち」にしよう!

投稿写真は、「西川グリーン大作戦2」の活動資料として活用させていただきます。改善された課題や箇所は、プラにしWebサイトでご報告いたします。



各種事業の開催状況については、公式Webサイトに発信していきます。
nishigawa.space

防災訓練体験

「知っている」と「経験したことがある」の間には、大きな差がありました!

いざというとき、「行動を起こすことをためらわない」人になるために、防災キャンプでは様々な体験をふらりと公園に訪れた方々に提供しました。



AEDと心臓マッサージ(胸骨圧迫)で命を救え!!

119番通報後、救急車が現場到着するまでの時間は平均約8分。待っている間、AEDを使用した救命処置を行うことで助かる可能性が高くなります。AEDの電源を入れると音声案内が開始します。心臓マッサージは1分間に約100回のテンポで、強く!早く!たえまなく!救急車の到着まで続けましょう。



👤 コロから火が出て、ぐわあ〜って急にすごい火が迫ってきて怖かった...壁とか天井まで...火が...

👤 油に引火! 意外と消えないものですね...



初期消火2分で全焼を防げ!!
119番通報後、消防車が現場到着するまでの時間も平均約8分。火事発生から2分以内の初期消火がポイントです。でも、消火活動もMax2分がタイムリミット! 煙が発生したり、壁や天井に火が燃え移ると避難が困難になります。無理をせず、すぐ避難しましょう。

家にある物で応急担架をつくらう!
災害時、けが人搬送や移動が困難な人のために、身近な物で担架をつくることができます。
■準備物
・物差しや竿などの長い棒 2本
・Tシャツ 5〜6枚
※代わりに毛布(シングル)1枚でも可能
※竿にTシャツの袖を通すだけで完成
消火器(粉末系)の使用時間はわずか10秒〜20秒。しっかりと火元に狙いを定めてレバーを握ります。

👤 いざという時の消火は大人の役目。大人の方にも体験をしてほしいです。From 消防士

👤 身近な物が簡単に役立つアイテムになることがわかって勉強になりました。
👤 お母さんを持ち上げられたよ!



日頃から気をつけておくポイントを聞きました!

- 1 消火器の位置は把握していますか?
- 2 消火器の使用期限は切れていませんか?
- 3 火災報知器を設置しよう(個人宅、飲食店)
- 4 厨房やキッチンの油污ははまめに掃除しよう
- 5 避難口や避難経路に物を置かないように

※当事業は、岡山市より公園内での防災訓練として許可を得て実施しました。通常は公園内でのテント張り、宿泊、車の乗り入れ、たき火・BBQは禁止されています。

避難所体験×宿泊体験



命が助かったと安心したら、今度は生活をどうするか? という不安が襲ってきます。多くの学校が避難所として開設されると、毛布、クラッカー、水などが配られます。初期段階は、市職員等が避難所運営を行います。災害の規模によって避難所生活が長期に及ぶことが想定される場合には、避難所内で自治をつくり、自分たちで避難生活環境を整えていく必要が出てきます。

進化する避難所アイテム

- 発泡ポリプロピレン製ベッド
さっとアルコール消毒ができ、軽く暖かい。
- 簡易トイレ
学校内の和式トイレにポンと仮設できるタイプ。個室を利用するためプライバシーもOK! 袋を設置して、凝固剤を入れて封をすれば臭い漏れの心配もありません。

岡山市危機管理室 入矢さんに突撃してきました!

👤 宿泊体験にも参加くださいました。初めての公共公園を使用した防災キャンプはどうでしたか?

👤 防災訓練は学校でというのがお決まりでしたから、新しい試みでした。日が落ちるとかなり寒くて気持ちが折れそうになりましたが、公園でのテント宿泊も含めて実体験ができたことは、危機管理を担う身として、とても良い経験になりました。👤 展示方法についても、風など、屋外で開催する時の課題もいくつか見つかりました。👤 次回は、アンケート結果で希望が多かった避難所生活をイメージできる体験企画を実施してもいいかもしれませんね。👤 個人的に翌朝のヨガは、20分でしたが身体が温まりました。立ったままの簡単なストレッチと思いきや、冷え固まった身体にはきつかったですが、避難生活で起こりやすいエコノミクス症候群の予防にもなりますね。



👤 非常用持出袋に入れてあるけれど食べたことが無かったので良い経験になりました。お湯を入れて15分。簡単にできそうだったけど失敗連続で味なしに...経験は大事ですね。

👤 27日夜から深々と冷え込み、28日朝までの最低気温0.8℃! 冬の屋外避難は、こんなにも寒いのかと全身体感。寝袋やテントがあっても身体に堪えました。 by テント泊者



発行日 | 2022年1月17日 発行・企画・制作 | 一般社団法人ふらっと西川(プラにし)
発行人 | 池田晃 編集・ディレクション&デザイン | 一般社団法人TOCOL 写真 | 山下りる Special thanks | 西村禎之
問い合わせ先 | 一般社団法人ふらっと西川 〒700-0901岡山市北区本町9-13 池田促成青果ラボ内 MAIL | inq@nishigawa.space HP | https://nishigawa.space/

06 西川エリアを楽しむ・味わうフリーペーパー TAKE FREE

保存版@防災マップ[地震編]



ふらっと西川

地域と日常的に防災を考える

1キロ防災



REPORT

[実施日: 2021年11月27日-28日] 延参加者数 200名
主催: 一般社団法人TOCOL
共催: 一般社団法人ふらっと西川、岡山市 / 協力: 出石地区連合町内会、出石地区自主防災会連合会

ヨナヨナトーク

公園で遊んでいる子どもたちも、イルミネーション見学の若者も行政の方も、世代や経割りを越えて火を囲みました。



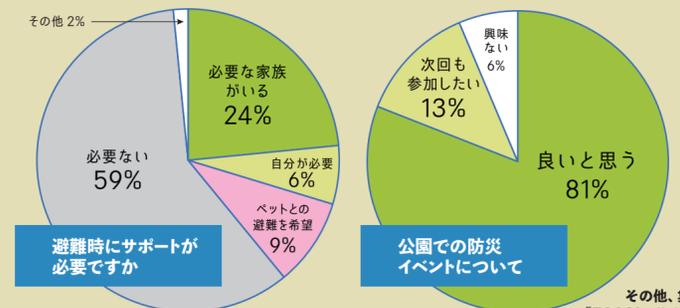
👤 はじめてたき火をした。最初は火が怖くて近づけなかったけど薪を追加できた!
👤 ドッジボールより楽しい! 公園の中で枯れ枝とか拾ってくるよ。(その後) 煙が出やすい枝とそうじゃないのがあったよ。



👤 西日本豪雨災害時、暖かい食事や野菜が不足しているとの連絡を受けて、西川エリアの飲食店チームで炊きだしをしました。その経験を踏まえて、中華がゆ「防災キャンプVer.」を考案。野菜もタンパク質もバッチリ!
by 池田促成青果ラボ 池田

防災意識調査結果

ご協力いただきありがとうございます。
[アンケート回答] 63件



Voice 🙋 防災時に行政機能がマヒする可能性を考えると、町内会など日頃からのつながりを作っておくことが重要だと思います。🙋 半年に一回ぐらいの開催でもいいと思う。4月、5月、10月ぐらいがいい。🙋 夜間の避難が少し不安。🙋 ベッドとの同伴と幼児の夜泣きが不安です。🙋 高齢者の歩行補助やトイレの介助サポートが必要です。など

住宅と商業の「混在エリア」で新しい地域防災をはじめました

岡山市中心部に位置する西川エリアは、住宅と600以上の飲食店、ホテル、百貨店など、まちを構成する役割が複数ある「混在エリア」です。3.11以降「地域防災」の重要性が高まり、町内会単位での取り組みは増えました。しかし、人口の流入が急増している岡山市中心部で大地震が発生した場合、時間帯や季節によっては、住民以外の学生や会社員などの帰宅困難者が駅や公園、広場にあふれると想定しています。少子化がもたらした学校の統廃合による避難所不足、新型コロナウイルスによる避難所運営など、新たな課題も増えてきました。

これからの地域防災は、町内会やマンションの自治単位だけでなく、もうひと回り大きな枠組みで取り組むことが必要と考えます。私たちは、地域の皆さまと一緒に、有事に既存枠を超えた共助ができるコミュニティづくりをはじめます。

一般社団法人TOCOL (トール) 代表理事 山下りる



地域との連携

いつ巨大地震が起きてもおかしくはありません。2019年、地域の安全安心を願って出石地区自主防災会連合会を立ち上げました。出石連合町内会を中心とした「顔が見えるインフラづくり(=コミュニティ)」は、日頃から地域の関係づくりを強化しており、災害時にいち早く連携することで減災にも繋がります。防災訓練に参加し、改めて災害の恐ろしさを身をもって体験することも重要です。現在は、要支援者の支援活動も自防連で取り組んでおります。

出石地区自主防災会連合会 西村 禎之

地震が起きたらまずどうする？

地震は何の前触れもなく突然やってきます。夜中寝ている時かもしれません。通勤・通学中かもしれません。どう命を守るかイメージトレーニングをしてみましょう。

南海トラフ地震で想定される被害

西川エリア及び周辺 **震度6弱**
津波浸水想定なし

岡山市全体 **建物倒壊**
約29,000棟

ライフライン破損
電気・水道・ガス
一時停止



イメトレ★スタート! 緊急地震速報が鳴った! 数秒後には揺れが来ます。さあ、どうする?

数秒後 地震発生 震度6弱以上は立っていることが困難な揺れです

1分後 揺れがおさまる 徐々に火災や道路の陥没など様々な被害が発見されます

数時間後 避難所開設の確認 すぐには開設されません! 天気予報も確認を!

天気も確認

【建物】 建物がお倒れまたは倒壊しそうな場合、できるだけ**出入口側**に避難しておく。
【頑丈な建物内】 安全を確認して**揺れが収まるのを待つ**。

家店舗

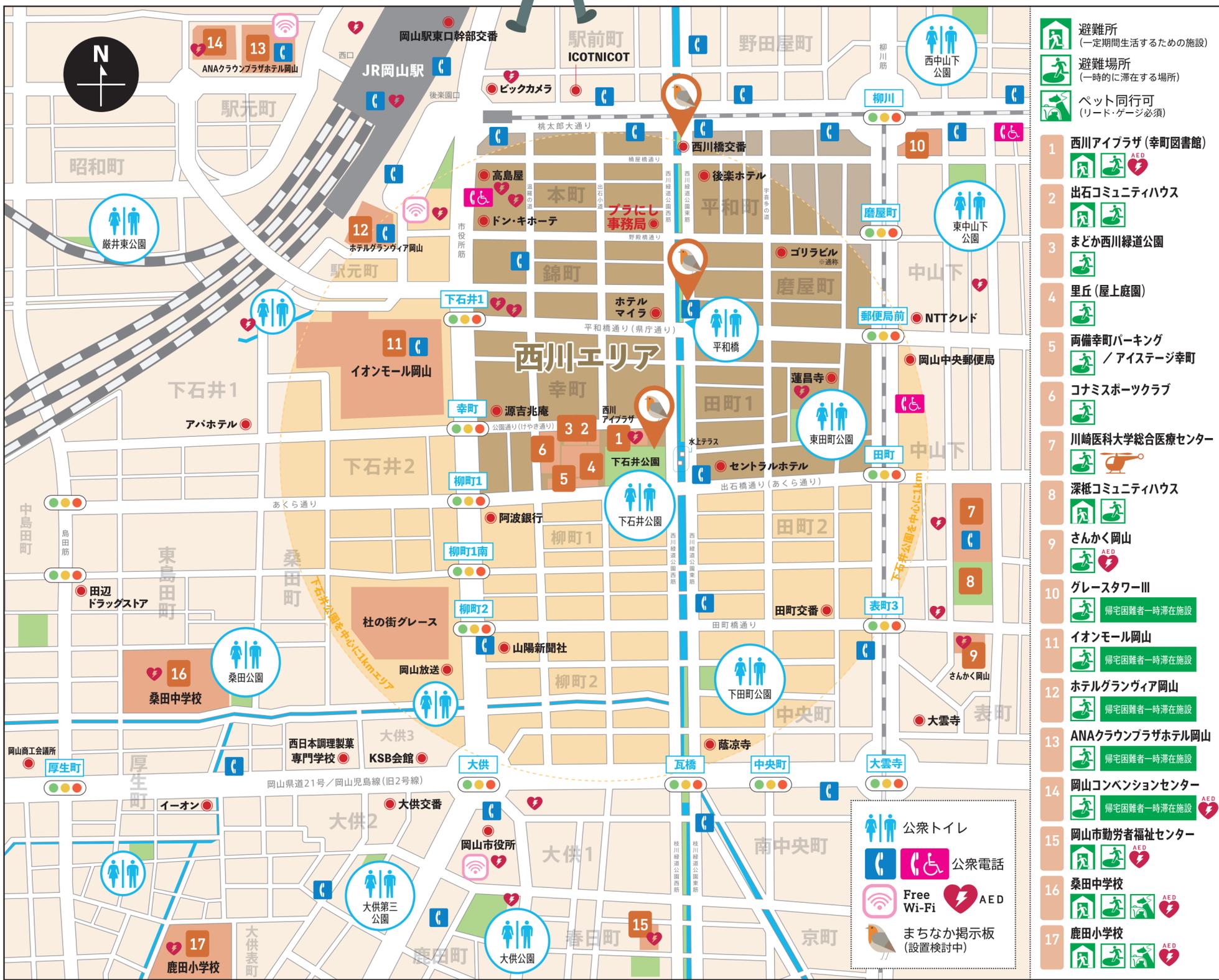
【野外】 屋外看板や窓ガラスが落ちてくる場合があるので、**鞆などで頭を守りながらできるだけ安全な場所へ移動**。

乗物 【車】 ハザードランプを灯して**ゆっくり停車**。
【公共交通】 緊急停止などの衝撃に備えて、**座席や柱にしっかりつかまる**。

→ ① ドアや窓を開けて**逃げ道を確認**
② **火の元を確認** (出火時は初期消火を行う)
③ 電気の**ブレーカーを切る**
④ 隣近所の方で**声かけ、助け合い**
※一番怖いのは火事の二次災害。万が一ガス漏れていることを考慮してタバコライターを含め**絶対に火を使わないこと!**
→ 救出活動、負傷者の応急救護や搬送 など
→ 車から離れるときはドアをロックせず、**鍵をつけたまま車検証をもって避難**
→ 公共交通の場合はアナウンスに従って避難

災害用伝言ダイヤル **171**
火事・救助・救急車 **119**
岡山市公式 Twitter @okayama_city

→ **自宅滞在が困難・危険**と判断した場合 非常持出品を持って指定の避難所へ移動 ※車は使用しない ※戸締まりをしっかりと行う
→ **自宅への帰宅が困難・危険**と判断した場合 一番近くの避難所へ移動
→ **出張中などで被災し帰宅が困難な方は**、「帰宅困難者一時滞在施設」へ
建物に亀裂や屋根瓦の落下などがある場合、雨漏りなどの二次被害を受ける場合があります。貴重品の避難と合わせてブルーシートなどでの応急処置を。



岡山市災害情報を要チェック

岡山市公式LINE、おかやま防災ポータル、避難所の混雑状況

日頃の備えはできてる？

家具家電・什器・看板をチェック!

- 動かない、倒れないようにしっかり固定
- 寝ている時に照明器具や家具の下敷きにならないようにベッドを配置
- 照明器具・ボトルなどの落下防止
- 屋外看板が落ちたり移動しないようにしっかり固定

出入口をチェック!

- 通路、階段に物を置かない
- スニーカーなど歩きやすい靴がすぐ履けるように準備しよう
- ヘルメット、手袋など頭や手を守る物を準備しておく

非常持出品の準備

- 避難所で**3日**過ごすことを目安に持出袋にまとめ、目につところに置く
- 例) 現金、身分証、最低限の非常食、食器、水(500ml)、下着、ウエットティッシュ、マスク、常備薬、おくすり手帳、メガネ、歯ブラシ、タオル、手袋、モバイルバッテリー、乾電池、ホイッスル、文具(油性ペン・はさみ・ノット)、生理用品、おむつ、杖、体温計、防寒具、ペット用ゲージ、ペットフードなど

自宅に備蓄する

- 家族が**7日**間過ごすことを目安に備蓄品を揃えておく
- 例) 食料(レトルト、缶詰、クッキーなど)、水(3L/1日一人あたり)、食器(皿、箸、コップ)、給水ポリタンク、ラップ、カセットコンロ、カセットボンベ、アウトドア用品(テント、寝袋、ソーラーランタン、マルチツールナイフ)、新聞紙、ゴミ袋、段ボール、ゴム手袋、裁縫セット、薬箱、文具(布製ガムテープ、紐、ペン)、簡易トイレ、トイレトペーパー、トイレ用凝固剤、ブルーシート、消毒剤、様々なサイズの乾電池など

通電火災に気をつけて!

通電火災とは、停電の後、電気が復旧した時に起きる火災のことです。時間差で発生することが多く、木造住宅地域、雑居ビル街では特に注意が必要で、大規模な延焼に発展する危険性があります。阪神・淡路大震災や東日本大震災では、**出火原因の3割以上が電気**によるものでした。電気復旧時に、倒れた電気スチーブや損壊した電気コンロ、ペットヒーターなどに通電した際、近くの可燃物に引火したりして発生します。

【対策】
・揺れが収まったら電気器具の**スイッチを切り、コンセントを抜く**。避難時は**ブレーカーを切る**
・地震発生時に自動で電気を遮断する「**感震ブレーカー**」の設置も有効!

【電気の復旧前には確認を】
ブレーカーを上げる際は、事前に周辺にガス漏れがないか、電源コードはすべて抜けているか、可燃物が近くに落下していないかなど、十分に安全を確認しましょう。

※携帯電話にのみ類すると充電が切れたときにわからなくなります

(注) 2021年2月時点の情報です。岡山市発行ハザードマップ参照